

国産化したものでサイフォン気圧計に浮子（うき）をのせて気圧を記録するもの。

スタトスコープ

一種の示差気圧計で微気圧の変動を記録するもの。

経緯儀

岡田群司氏の手による国産クロノメーターでゼンマイ時計のうちでは最も正確なもの。

ウイヘルト地震計

明治40年に購入されて以後、全国で昭和50年頃まで使用されたもの。

その他、ショルト式シンクロノーム（時計）などを保管しているが、これを組み立てて動作させるには、いたっていない。

最近、参考館に展示する気象測器参考品が多数収集されているが展示場所がないほどになってきている。

増えることはあっても減らない歴史的測器をどう展示していくか、見学者が、見やすい展示方法の検討など今後の課題は多い。

これらの歴史的測器を見ていると、当時の科学技術の粋を集めて製作されていることに敬服するとともに、その測器を使って、国民の生命と財産を自然災害から守るために、昼夜をわかつた観測を続けた人達の苦勞がしのばれる。

これらは気象測器の原点となるもので、参考館は気象関係者にとって一見に値するものである。

なお、この参考館は気象測器工場が管理している。

見学可能時間：月曜日～金曜日 10時～15時

見学申込み：電話による事前申し込みが必要。

問い合わせ：気象測器工場 深井 0298 (51) 4122

日本気象学会誌 気象集誌

第II輯 第65巻 第3号 1987年6月

矢野順一：木星型大気の力学についての基本的考察

第I部 運動の深さとエネルギー源

矢野順一：木星型大気の力学についての基本的考察

第II部 大気層の力学

宮原三郎：熱帯季節内振動の簡単なモデル

Philip E. Ardanuy・T.N. Krishnamarti：Nimbus-7 ERB から推定される発散風循環：1982—1983 ENSO現象への応用

新田 勳：熱帯西部太平洋の対流活動と夏期北半球大気循環への影響

Yi-Leng Chen：東大西洋上における中規模対流系が周囲に及ぼす熱力学的効果

Tsing-Chang Chen・Ming-Cheng Yen・Durgap Nune：南半球夏期の中間スケール波動の力学

時岡達志・谷貝 勇：大気大循環モデルに現われた潮汐について

猪川元興：狭領域スペクトル法に対する一考察

石島 英：M. Estoque：西進する台風に及ぼす台湾の地形効果の解析的研究

井上豊志郎：NOAA-7 の AVHRR 分割窓領域データによる対流性降雨域の推定

和田 誠：南極沿岸域の高気圧下の雲の形成機構

要報と質疑

新田 勳・元木敏博：1986—87年のエルニーニョ発生期における対流活動の急激な発達と強い下層西風流の出現

武田喬男・岩崎博之：東アジアにおける中規模クラウド・クラスターの出現特性

岡田菊夫・小林愛樹智・岩坂泰信・成瀬 弘・田中豊頭・根本 修：名古屋で採集された個々の黄砂粒子の特徴